

【2025年度事業開催報告】

防災スタンプラリー

楽しく学んで役に立つ!



「文具×防災×SDGs」をコンセプトとした体験型防災イベントを開催しました!

2025年11月28日(金) けやき会館にて、「楽しく学んで役に立つ! 防災スタンプラリー」を開催いたしました。

本イベントは、「相模原市SDGs連携推進事業補助金」を活用し、当組合が掲げる「文具×防災×SDGs」というコンセプトのもと、地域住民やSDGsパートナーの皆様と共に、災害に強いまちづくりを考える機会として企画しました。特に、単に災害に備えるだけでなく、発生時の被害を最小限に抑える「減災」に焦点を当て、実践的な知識をゲーム感覚で学ぶことを目的としました。



・都市部特有の災害リスクを学ぶ「防災講話」

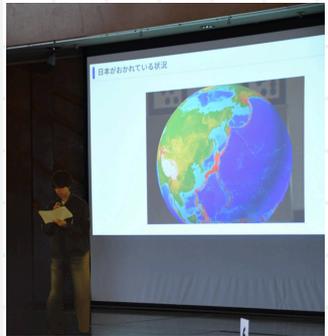
プログラムの冒頭では、相模原市防災協会の高木信幸氏を講師に迎え、「地域の災害リスクと今すぐ備えるべきこと」と題した講話が行われました。

講話では、日本が直面する大規模災害の予測に加え、実際に起こっている災害の傾向についても知ることができ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

・中学生講師の不在という不測の事態

本イベントは市内の中学生が講師を務め、大人が一方向的に教えるのではなく「生徒から学ぶ」形式が特徴ですが、当日は残念ながら冬期ならではのインフルエンザの蔓延防止のため学年閉鎖で生徒が欠席となりました。急遽、組合店舗で働く若者世代のスタッフが彼らの準備内容を汲み取り代行を務めましたが、参加者の理解を得て無事開催することができました。

結果として、地域一丸で成功を目指す「共助」の姿勢が図らずも示され、防災への備えと同じく日頃の準備の大切さを知る機会となりました。



・文具と防災、そしてSDGsへの貢献

会場では、災害時に役立つ文具の展示も行われました。ライト付きのペンや養生テープなど、日常使いの文具が非常時に果たす意外な役割を紹介し、「文具×防災」の親和性を伝えました。

本取り組みは、SDGsの目標3(健康と福祉)、4(質の高い教育)、11(住み続けられるまちづくり)、17(パートナーシップ)の達成に寄与するものです。

参加後のアンケートでは「『防災スタンプラリー』は、防災を「楽しく」学べるツールだと感じましたか。」という質問に対し、85%の方が「はい」と回答しています。また、「文具が、災害時の「防災ツール」として活用できることが理解できましたか。」という質問にも70%の方が「はい」と回答しました。当組合は、今後もこのような活動を通じて、地域のネットワークを強化することで、災害に強い安全なまちづくりに貢献してまいります。



イベント企画協力

公益社団法人相模原市防災協会、相模原市自治会連合会、公益財団法人相模原市まち・みどり公社、社会福祉法人相模原市社会福祉協議会、相模原商工会議所、相模原市印刷広告協同組合、株式会社タウンニュース社、菊屋浦上商事株式会社